



「はあとふる・ふくしま」の作成経費の一部として、共同募金配分金および特別賛助会員の寄付金を使用させていただいております。

ホットな福祉情報誌

はあとふる ふくしま

HEARTFUL
FUKUSHIMA

2013

12

Vol.212

発行・企画編集

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

TEL (024) 523-1251(代) FAX (024) 523-4477

URL <http://www.fukushimakenshakyo.or.jp>

メール heartful@fukushimakenshakyo.or.jp



特集

県内に広がる企業の社会貢献活動

「福島県内企業の社会貢献活動実態調査」の結果から

「ふくしま明日への一歩」

自然豊かな冒険遊び場で 思い切り外遊び！

地域の自然を子育て支援に活用するNPO法人 いざかサポーターズクラブ

情報掲示板

9

・第67回福島県社会福祉大会 が開催されました

・「罪を犯した高齢者・障がい者を地域で支援するためのセミナー」が開催されました

6

2



今月の表紙



福島市飯坂町で活動するNPO法人「いざかサポーターズクラブ」は、自然豊かで放射線量の低い茂庭地区の環境を生かして「子どもの冒険遊び場」を開設。子どもたちが安心して外遊びを楽しめる場を提供しています。（詳しくは6～7ページで紹介）

県内に広がる企業の社会貢献活動

『福島県内企業の社会貢献活動実態調査』の結果から

自社の利益を追求するだけでなく、社会貢献活動に積極的に取り組む企業が増えています。東日本大震災時にも大きな力になった企業の社会貢献活動について、県社協では今年4月、県内企業にアンケートを行いました。その結果から見てきたのは、地域と共に歩もうとする多くの企業の姿勢でした。

幅広い分野で活かされはじめた企業のみ

近年、企業においては、保健・医療・福祉、まちづくり、環境、教育、文化・スポーツなど、多様な分野に市民とともに参加し社会に貢献する活動に積極的に取り組まれています。また、東日本大震災時にも募金活動や被災地でのボランティア活動、自社製品・物資の提供等、幅広い支援活動が行われ、企業が持つ多様な資源は平時だけでなく、災害時にも大きな「ちから」となることが明らかになりました。

企業による社会貢献活動がますます活発となり、災害時を含め互いの強みを活かした支援体制をつくるための基礎資料とすることを目的に、

県社協では福島県内に事業所を置く企業の社会貢献活動の状況や課題等を把握する「福島県内企業の社会貢献活動実態調査」を行いました。

【調査内容】

- 社会貢献活動の実態（取り組みの有無）
- 社会貢献活動の概要（取り組みの内容）
- 他団体との連携
- 今後の社会貢献活動に対する考え方（過去・現在・未来 など）

【調査期間】

平成25年4月1日～4月20日まで

【回収結果】

有効回答率 28・7%
有効回収数 668件

約7割が現在または今後社会貢献活動に取り組む予定

調査結果によると回答のあった約7割の企業が「取り組んでいる」、もしくは「今後取り組む予定である」と回答しており、非常に多くの企業が社会貢献活動に取り組んでいる、または関心を持っていることがわかります（表1）。

表1 社会貢献活動（ボランティア活動）に取り組んでいますか

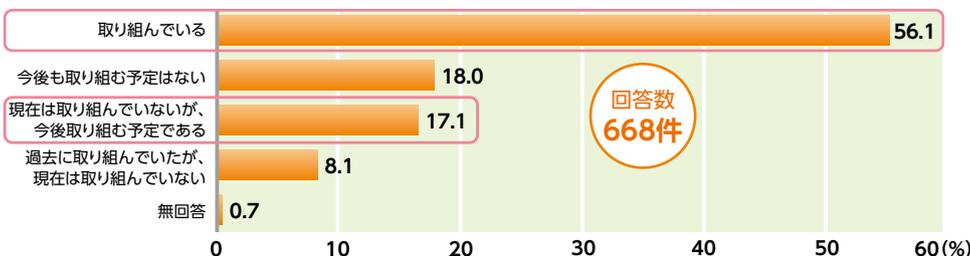
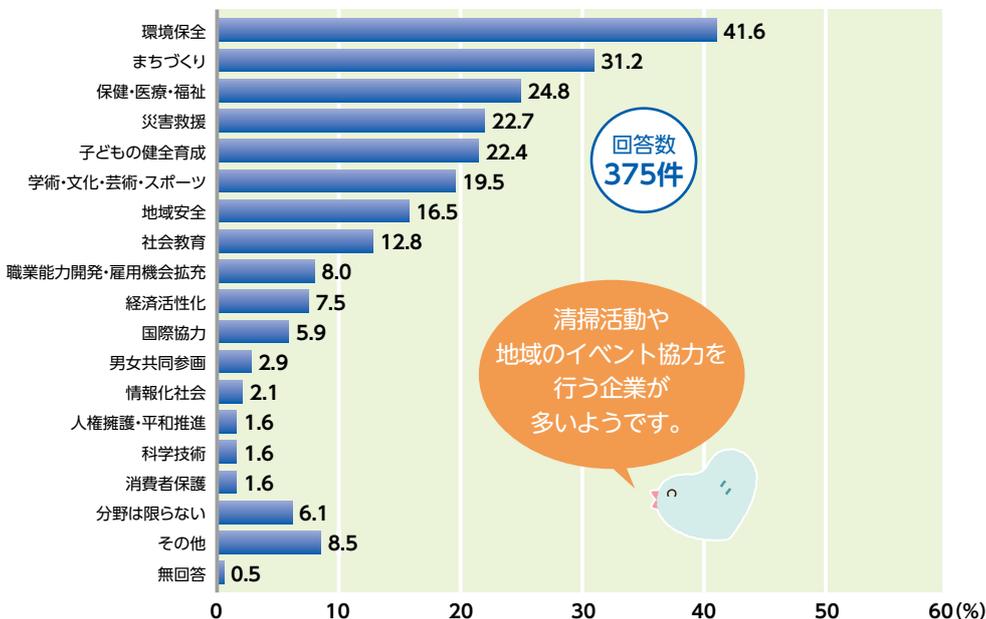


表2 取り組んでいると答えた企業における社会貢献活動の主な分野（複数回答）



取り組みやすい分野は、「環境保全」と「まちづくり」

社会貢献活動に取り組んでいる企業の約4割が「環境保全」活動、約3割が「まちづくり」を行っています（表2）。企業にとって「環境保全」や「まちづくり」は取り組みやすい分野のようです。

社会貢献活動に取り組む動機については、「地域社会の発展とともに会社の発展がある」が78・1%と最も多く、次いで「利益を社会や地域に還元するのは当然」(41・1%)、「従業員のモラル向上や社内の活性化」(35・2%)、「経営者が積極的」(35・2%)と続きます(表3)。社会貢献活動に取り組むことによつて会社の発展はもちろんのこと、利益を社会や地域に還元するのは当然と考へている企業

動機は「地域社会の発展とともに会社の発展がある」からが最多

表3 社会貢献活動に取り組むに至った経緯、動機(複数回答)

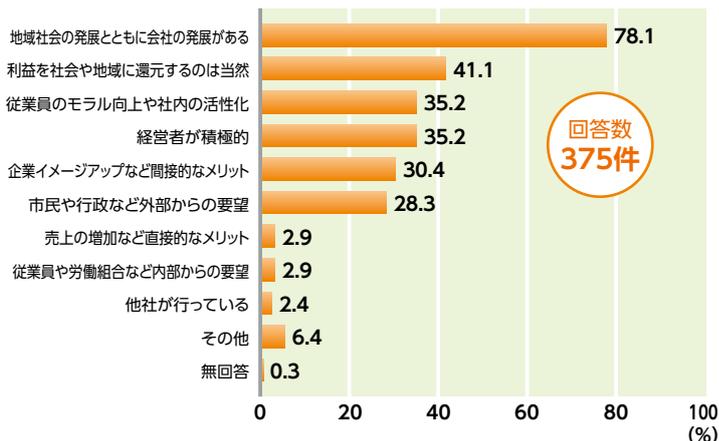
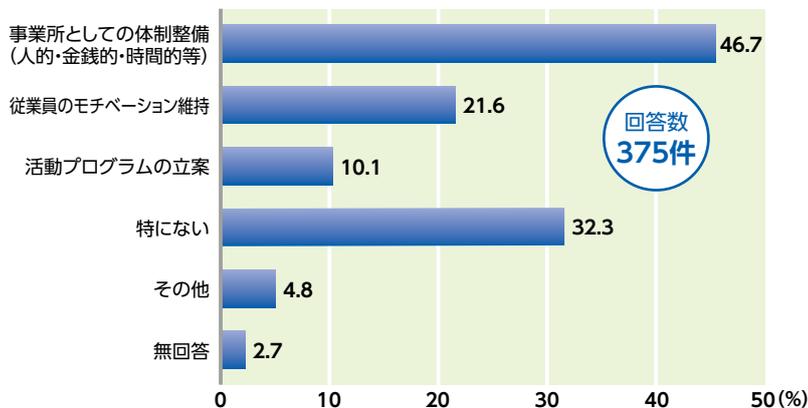
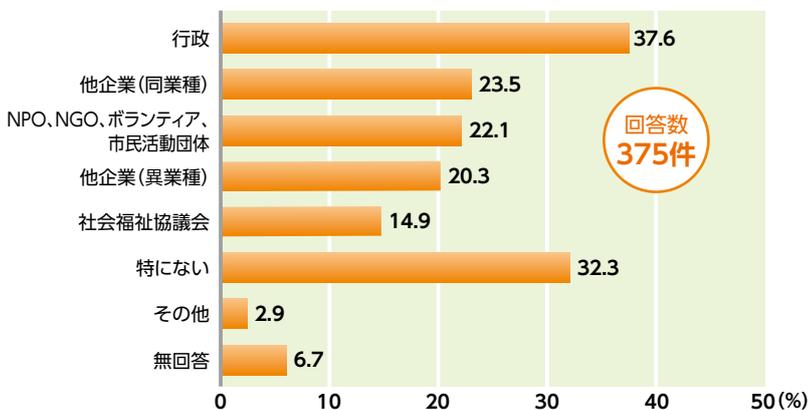


表4 社会貢献活動を継続するうえでの課題や悩み(複数回答)



が多いことがわかります。一方、「売上の増加など直接的なメリット」は2・9%と少なく、本業の利益を動機としている企業は少数でした。社会貢献活動を継続するうえでの課題や悩みについては、「事業所としての体制整備(人的・金銭的・時間的等)」が46・7%と最も多く、次いで「特にない」(32・3%)、「従業員のモチベーション維持」(21・6%)と続きます(表4)。多くの企業で事業所の体制整備が大きな課題となっている

表5 社会貢献活動を行う上で企業として連携したい団体(複数回答)



ことがわかります。社会貢献活動を行う上で連携したい団体については、「行政」が37・6%と最も多く、次いで「他企業(同業種)」(23・5%)、「NPO、NGO、ボランティア」(22・1%)と続きます(表5)。社会貢献活動をより効果的に継続して実施していくために、行政や他企業(同業種、異業種)、NPO、NGO、ボランティア、市民活動団体、社協と連携したいという企業が多いようです。

福島県内の社会貢献活動活性化に向けて

また、今後、大規模災害が発生した際の社会貢献活動としては、自社製品を活かした炊き出し等の活動、専門的な技術を活かした活動、自社が持つ施設や機材の提供、社員のボランティア活動奨励(ボランティア休暇の取得促進)等、それぞれの企業が持つヒト・モノ・お金・技術を活かした活動を考へている企業が多くありました。

県内の企業による社会貢献活動が活性化するための方策や提案としては、「他の企業で取り組んでいる活動事例が知りたい」、「災害時にごくどのような支援を必要としているのか情報提供して欲しい」、「社会貢献活動について学ぶ機会が欲しい」等、積極的な意見が多く聞かれました。企業が社会貢献活動を推進するためには、活動の目的を明確にし、地域との関わりを持ち、企業を取り巻く環境などを分析し、取り組むことが必要とされています。連携・協働し互いの強みを活かせる支援体制づくりにむけて、今後県社協ができることを検討してまいります。

県内企業の取り組み事例

実際に社会貢献活動に取り組んでいる企業は、どのような活動をしているのでしょうか。須賀川市と只見町の企業を取材しました。

株式会社セルクル
 本社：須賀川市影沼町247
 TEL (0248) 73-23332
 須賀川市

主な取り組み
 ● 文化活動
 ● 無償クリーニング 他

「災害時の洗濯ニーズが今までは想定されていなかった」と鈴木和幸社長。「この経験は今後の行政などの災害対策に活かして欲しいと思います」。



株式会社 セルクル
 鈴木 和幸 社長

震災時、避難所で過ごす人たちの衣類を無償で洗濯・集配

須賀川市に本社のあるセルクルは、正9年創業の老舗クリーニング店。三代目社長の鈴木和幸さんは「地域と共に発展したい」との思いを込め、7

年前にフランス語で「円」の意味があるセルクルに社名を変更。毎年、福祉施設で無償クリーニングを行うほか、クラシックコンサートを開くなどの地域貢献に積極的に取り組んできました。

東日本大震災時、須賀川市最大の避難所となった須賀川アリーナは会社のすぐ近く。セルクルでは、着の身着のまま避難してきた人たちのために、肌着をはじめ衣類を無償で洗濯して届け続けました。鈴木社長は、「あの時は、自分たちができることをやらなくてはな



セルクルでは試行錯誤の結果、須賀川アリーナなど、各避難所に設置したカゴに洗濯物を入れておくと洗濯終了後に送り届ける仕組みをつくりました。

避難所に通い洗濯物の集配を続けた事業統括本部長の富田俊三さん。「ありがたう」と涙する被災者の姿が忘れられないそうです。



株式会社 セルクル
 富田 俊三 事業統括本部長

らない、と自然に思いました」と振り返ります。「災害時であっても、人が清潔な衣類を身につけたいと思うのは当然です。それがこれまでは想定されていなかったのではないかと思います」。

「この会社に勤めてよかった」地域貢献で職員の意識が変わる

一方で、事業統括本部長の富田俊三さんは「無償の洗濯は社会貢献だけが目的ではなかった」とも話します。「震災後、辛い工場はすぐ稼働できた

のに、全く仕事がありませんでした。当社はパート従業員がほとんどです。で、仕事がないと彼らの収入が途絶えてしまいます。従業員を一人たりとも解雇しないために、資金が続く限り、何でも洗おうと社長と話し合っって決めました」と富田本部長。

さらに、避難所近くのコインラン

ドリーに長蛇の列ができてくるのを目の当たりにした鈴木社長は、系列のオーナーに呼びかけて避難者にコインランドリーを無料開放しました。無償の仕事が続き、震災後の4月は、売り上げが前年度の半分。しかしその後、クリーニングの需要が一気に持ち直し、平成23年7月決算は黒字で終わることができました。

鈴木社長は、「予想もしない事態にも、会社ぐるみで前向きに取り組んできたことが、職員の士気を高める結果になった」と感じています。

震災後の仕事が一段落したタイミングに、ある職員から「この会社に勤めてよかった」と言われたことが、うれしく印象深かったと富田本部長は話します。「自分たちの働いている会社は、職員を大事にし、さらに地域貢献している誇れる会社だと伝えられたことが、活動の一番大きな意義だったのではないかと今になって思います」。

避難所が閉鎖され、避難生活者が仮設住宅に移った後も、セルクルは避難生活者専用のカードを作り、原価でのクリーニング提供を継続しています。社名に込められた理念通り、地域・社員・避難生活を送る人たち——幾重もの円を縁にしなから、セルクルは地域貢献活動を続けています。

美馬建設株式会社

只見町

本社：只見町大字只見字原610

TEL (0241) 82-12155

主な
取り組み

- 遊休農地の活用
- 買い物支援 他



美馬建設 株式会社
美馬 典昭 社長

「できる範囲で無理せず地域貢献に取り組みたい」と美馬典昭社長。「タクシーなど、本業の方の邪魔をしないことも大切です」。

『買い物弱者とスーパーを結び「ハッピーシャトル」』

只見町は、過疎化・高齢化が進む中山間地域です。約60年前から地元で建築業を営む美馬建設は、数年前から町の人から依頼を受けて、草刈りなど農地の維持管理や遊休農地でのそば栽培などを行ってきました。

「建設業は工程によって空き時間ができますので、すき間時間を使って本業に影響のない範囲で農業支援に取り組んできました」と美馬典昭社長。そ

の活動で地域の課題として見えてきたのが「買い物弱者」の問題です。

金山町に接する塩沢地区は、商店が1軒もありません。数年前から移動販売車も来なくなり、買い物のための移動手段は主に車です。しかし、高齢になると、「雪道の運転に自信がない」と運転をためらう人が増えて、日常的な買い物にも困っている状況でした。

「最初は私が行商を試してみようと思っていたのですよ」と美馬社長。「でも、すぐに相当ハードルが高いことがわかりました。それで、雪で閉じこもっているよりも、皆さんに外に出てもらう方がいいのかもしれないと、3年前、町内のスーパーへ送迎を始めたの



3年目の冬を迎えた「ハッピーシャトル」は、塩沢地区にとってなくてはならない存在になりました。

です」。

「ハッピーシャトル」と名づけられた送迎車は、12月中旬から3月まで毎週水曜の運行。普段は作業員の送迎に使うワゴン車を利用し、車輛部長が運転手を務めます。利用登録しているのは60〜80代の15人で、午前10時に塩沢地区の郵便局に集合し、町内のスーパーへ出発。20分ほど買い物をして11時ごろには戻るスケジュールです。

解散場所は当初、郵便局でしたが、ほどなく全員自宅の近くまで送っていくようになりました。「1週間分の食品を抱えて雪のなか家まで帰る様子を見たら、近くまで乗せていってあげたいと思うようになりました。みんな困っていることや我慢していることがあってもなかなか口に出さない。この活動をきっかけにもっと相談してもらえれば、私どもでお手伝いできることもあるのではないかと思えます」と美馬社長は話します。

行政・介護サービスのすき間を埋める生活応援隊

例えば、冬の除雪作業。町の助成対象とならない世帯でも、高齢などの事情で雪かきができない場合、美馬建設では実費をいただいで引き受けています。また、家屋の修繕やちょっとした



遊休農地の活用で始めたそば栽培では、製粉まで行います。毎年春、塩沢地区で行われる山菜まつりでは、手打ちそばを販売。売上を同地区に寄付しています。

段差を解消するなどの改修を頼まれ、なるべくお金がかからないようにと知恵をしぼることもあるそうです。

今後について、美馬社長は「若い世代を巻き込みながら長く続けたい」と考えています。「20〜30代の社員に関わってもらおうと、新しいアイデアも出てくるだろうし、それが地域の活性化、さらには若者の定住にもつながっていくべきだと思います」。

美馬建設では、只見の食文化を伝える「マトン焼き肉」の普及など、他にも地域を盛り上げる取り組みをしています。

建設業の楽しさは、「みんなで力を合わせてものを作っていくこと」と話す美馬社長。長年、地元企業として培ってきた目くばり気くばりの発想力と行動力が、地域づくりに大きく活かされています。



竹竹木で
工作もできます

遊び場の開設時間は、
ホームページでお知らせしています。



「近所にこういう場所がないので、普段は外で遊ぶことがなくて…」と話す児童も、ここでは大はしゃぎで遊具に駆け寄っていました。



「冒険遊び場では、遊びの準備も子どもたちに任せるので、想像力や判断力が養われます」と、事務局の佐藤耕平さん。

「子どもの冒険遊び場in茂庭」は、摺上川ダムの下流域に広がる空き地に設けられました。木立と竹材を組み合わせたツリーハウスが常設されているほか、ロープを編んだネット状のハンモックも用意されています。「遊具で遊んでも良いし、木や竹を使った工作に挑戦しても良い。人を傷つけるよう

自由な発想でいきいきと 遊びを思い切り楽しむ場

る場です。自然豊かな福島に住みながら、外遊びを制限されている子どもたちのために、安心して遊べる場を私たちの手で作ろうと思いました」と、藤原さんは力強く語ります。

遊び場の放射線量は、ホームページで公表しています。正確な数値を得る

子どもたちの豊かな遊びを 地域ぐるみでサポート

遊び場は無料で利用でき、開設時間内であれば、いつ来てもいつ帰っても構いません。年齢制限はありませんが、5歳児から小学校高学年までの子どもたちの姿がよく見られます。多い時には、合計30人もの子が集まるそうです。小さな子ども向けの屋内遊び場が増える一方、小学生以上の子どものために適した遊び場がありませんので、その受け皿になっている面もあるようです。



スタッフ手作りの「ロープネット・ハンモック」。寝そべったり飛び跳ねたり、次々と遊び方を見つけていく子どもたちは、まさに遊びの天才です。



子どもたちが発案した「竹渡り」は、シンプルな面白さが人気。渡りきる人はめったにいないため、悔しがりながらも何度も挑戦する姿が見られました。

ために、環境省と県が共同で福島市に開設した「除染情報プラザ」に依頼し、専門家チームに測定してもらいました。10月24日現在の空間線量は、0.12〜0.21μSv/hです。

また、遊び場の運営には、地域のさまざまな分野の方が協力してくれています。ダムの近くで遊び場を開設する許可をもらえるよう摺上川ダム管理所にお願いした際は、「子育て支援事業の一環ならば」と、管理する敷地を快く貸してくださいました。工作に使用する木材は、地元の材木店が端材を提供。竹は、知人の所有する竹やぶへスタッフ自ら切り出しに行くのだとか。福島大学の災害ボランティアセンターから、手伝いに来てくれる学生もいます。「人と自然、両方に支えられている手作りの遊び場です」と笑顔を見せる佐藤さん。茂庭ならではの魅力を活用了遊び場は、子どもたちの健やかな成長をこれからも応援していきます。

知って
おきたい

福祉ワード

職種編

今回は

手話通訳士

手話通訳士は、相互の意思伝達が困難な人々間のコミュニケーションを手話を用いて仲介する人です。実際の通訳場面では、両者の意見や立場を知り得る唯一の人として重要な役割を担っています。



Q 手話通訳士とは？

A 手話を用いて聴覚障がい者と聴覚障がいを持たない者とのコミュニケーションの仲介・伝達等を図る専門家です。手話通訳士には、公正な態度や、さまざまなことを理解する知識および高い通訳技術が求められます。

Q 手話通訳士はどのようなところで活躍していますか？

A 資格がなくても手話通訳を行うことはできますが、裁判や政見放送の手話通訳は手話通訳士の資格がなければできません。最近では、行政機関の窓口を設置する手話通訳者を募集するときに、手話通訳士有資格者を条件にしているところも増えてきています。また、地域の手話通訳者の派遣事務所では、司法場面など通訳現場の内容に応じて派遣することにより、手話通訳者の設置を手話通訳士有資格者としているところもあります。

Q 手話通訳士の資格はどのように取得するのですか？

A 厚生労働大臣が認定した「社会福祉法人聴覚障害者情報文化センター」実施の「手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）」（受験資格は20歳以上の者）に合格し、手話通訳士として登録を行うことが必要です。

また、手話通訳の養成機関として、各人がお住まいの都道府県や市町村が実施している手話通訳者養成講座があります。他に国立身体障害者リハビリテーションセンター学院、世田谷福祉専門学校、日本福祉教育専門学校等の専門学校があります。



【監修：社団法人福島県聴覚障害者協会 会長 吉田 正勝氏】

ふくしま インフォメーション

社会福祉士養成通信課程(短期・一般課程)のご案内

社会福祉士の国家試験を受験するためには、まず受験資格を取得する必要があります。全国社会福祉協議会中央福祉学院では、短期養成コース、一般養成コースの2つのコースにより、社会福祉士国家試験の受験資格を取得することができます。

受講資格 **短期養成コース** ◎社会福祉士専攻養成機関修了後、2年の相談援助実務経験がある方 ◎福祉系大学・短大・専門学校を卒業（基礎科目履修）した方 **一般養成コース** ◎大学・短大・専門学校を卒業した方 ◎4年の相談援助実務経験がある方（詳細は入学案内参照）

受講期間 **短期養成コース** 平成26年4月1日～平成27年1月31日（10カ月間）
一般養成コース 平成26年4月1日～平成27年10月31日（1年7カ月間）

| 受講料 | 短期養成コース | 一般養成コース |
|-----------------|----------------------|----------|
| 入学選考料 | 5,000円 ※ただし、免除になる条件有 | |
| 授業料 ※テキスト代含む | 185,000円 | 260,200円 |
| 実習指導料 ※実習要履修者のみ | 185,000円 | 185,000円 |

申込締切 第2次募集 平成26年1月10日（金）【必着】
※定員に達し次第締切

申込方法 受講案内及び申込書を中央福祉学院ホームページよりダウンロードできます。

社会福祉士専攻資格認定通信課程(春期コース)のご案内

社会福祉施設・事業所に勤務されている職員を対象に、通信課程の受講者を募集しています。

受講資格 ①民間社会福祉事業に従事していること ②受講期間中、申し込み時の所属法人に勤務していること ③受講について所属長の承認が得られること

受講期間 平成26年4月より1年間

学習内容 自宅学習によるレポート作成（16科目）、面接授業（5日間）、修了テスト

受講料 87,400円（テキスト・教材費、面接授業料等を含む）

申込締切 平成26年1月31日（金）

申込方法 受講案内及び申込書を中央福祉学院ホームページよりダウンロードできます。なお、申込者は受講者が勤務する施設・団体の所属長となります。

お問い合わせ

社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院

TEL(046)858-1355 FAX(046)858-1356 <http://www.gakuin.gr.jp/>

「第67回福島県社会福祉大会」が開催されました

第67回福島県社会福祉大会が11月15日(金)、リニューアルオープンした相馬市民会館で開催され、社会福祉関係者約1,000人が一堂に会しました。

はじめの記念講演では、福島大学人間発達文化学類の白石豊教授に『しなやかな体、タフな心 ～アンチ・エイジングヨガのすすめ～』と題し、講演していただきました。白石教授はヨガの効果や誰にでも簡単にできるヨガなど、映像を用いながらお話していただきました。

式典では、県知事感謝状の表彰者66名、大会会長表彰・感謝状の表彰者10団体344名、赤い羽根共募運動

スローガン表彰者6名の方々に、表彰状及び感謝状が授与されました。

また今回で21回目となる瓜生岩子賞は、社会福祉法人青葉学園園長の神戸信行さんと、里親として長年子どもたちを養育されてきた幕田好三さん・由美子さんご夫妻が受賞されました。

その後、大会宣言において、今後も私たち社会福祉関係者が、県民の理解と参加・協力のもと、より一層の被災者支援と誰もが安心して暮らすことのできる福祉社会の実現に努めていくことを参加者全員で誓い、来年福島市で開催予定の第68回大会に引き継ぐこととなりました。



福島大学白石豊教授による記念講演



今年は相馬市での開催

「罪を犯した高齢者・障がい者を地域で支援するためのセミナー」が開催されました

罪を犯した高齢者・障がい者が矯正施設を退所した後の地域生活の支援を図るため、平成21年から地域生活定着支援センター（以下、センターという）の設置が全国で始まりました。本県においては、県社協が県からの委託を受けて、平成24年3月にセンターを開所しました。

司法と福祉の連携という新たな取り組みは、日々手探り状態による実践の積み重ねである中、専門支援のスキルアップや広域的なネットワークにおける連携が必要になっています。



基調講演する浜井浩一氏

そこで、10月28日(月)県社協等が主催となり、障がい者相談支援事業所・市町村行政・弁護士等218名の参加を得て、本センター事業の啓発と専門的知識・技術習得を目的に、標記セミナーが開催されました。

はじめに「なぜ、日本の刑務所で高齢者・障がい者が増えているのか」と題して龍谷大学法科大学院 浜井浩一教授による基調講演が行われました。犯罪自体は減少傾向にある中、高齢者の犯罪が増加傾向にあり、このことは先進諸国においては稀です。その背景には、高齢者の孤立化や貧困等が理由として挙げられます。そして、受刑者や障がい者を施設から解放し、地域で支え合いながら共に生きていこうとするイタリアの取り組みが紹介されました。

また、福島大学 新村繁文教授をコーディネーターとした「取り組み報告」では、センター及び障がい者相談支援事業所の立場から、本センター事業の課題や実践事例についての報告がありました。そこでは、罪を犯した障がい者等の背景を関係機関(者)が十分に理解し、チームを組み支援することで、「生きにくさ」をもった方がその人らしく生活することにつながると参加者全員で認識しました。



「取り組み報告」の様子

赤い羽根 ささえあい



社会福祉法人福島県共同募金会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 (福島県総合社会福祉センター内)

TEL (024) 522-0822 FAX (024) 528-1234

●メールアドレス akaihane@axel.ocn.ne.jp

●ホームページ <http://www8.ocn.ne.jp/~akaihane/>

赤い羽根共同募金ふくしま

検索

平成25年度歳末たすけあい運動が12月1日から始まりました！

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに掲げ、今年度も共同募金運動の一環として12月1日から12月31日までの1カ月間、歳末たすけあい運動を実施しています。

ボランティアや民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会などの関係機関・団体の協力を得て、新しい年を迎える時期に支援を必要とされている方々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の皆様のご支援とご協力によって多様な福祉活動が展開されます。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、例えば一人暮らし高齢者の方へのおせち料理の配食や除雪サービス、その他の地域福祉サービス事業など、皆様方がお住まいの地域に密着した様々な事業に活用されます。

共同募金は自主性を大切にしている募金です。ご自身の可能な範囲でのご支援とご協力をお願いいたします。



平成25年度 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」 住民支え合い活動助成事業の応募受付終了のお知らせ

県内の住民の皆さんの支え合い・助け合いを支援することを目的に、全国の皆様から寄せられた赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」を基に広く助成を実施してまいりました。このたび、応募受付終了日より前ではありますが、予定していました助成総額の1億円に達しましたので、応募受付を終了いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

■ツナとコーンのパンケーキ



〈材料〉

(9号アルミカップ6個分)
ホットケーキミックス…150g
ツナ缶…1缶(70g)
粒コーン…1缶程度(155g)
塩…少々(2g)
水…50cc

〈作り方〉

- ① オープンを180℃に予熱しておきます。
- ② ホットケーキミックスに、軽く油を切ったツナ、汁を切ったコーン、塩を入れて混ぜ合わせます。
- ③ ②に水を加え、混ぜ合わせます。
- ④ ③をアルミカップに入れて、180℃のオーブンで約20～25分焼きます。
- ⑤ ④に串をさして生地が串についてこなければ、できあがり。

- ※ ホットケーキミックスは、卵が含まれている製品もあります。原材料の表示を確認してご使用ください。
- ※ ツナやコーンなど具材の量はお好みで調整してください。
- ※ 焼き時間や温度は、利用するオーブンにあわせて調整してください。

変えて作る、ウインナーパンケーキも人気です。

器具はツナやコーンからウインナー(輪切り)に

変えて作る、ウインナーパンケーキも人気です。

変えて作る、ウインナーパンケーキも人気です。

施設発

みんな大好き!

人気メニュー

アレンジは自由自在
卵を使わないパンケーキ
ちゅうりっぷ保育園(福島市)

社協通信

会津盆地の中心に位置し、「会津のへそ」とも言われる湯川村。湯川村社協では高齢者から子どもまでが「福祉の中心」となる事業の展開を目指しています。

湯川村
社会福祉協議会



エリア情報

(平成25年10月1日現在)

人口：3,215人

世帯数：934世帯

高齢化率※：30.4%

※65歳以上の高齢者人口が全人口に占める割合

職員総数：13名
(事務局・デイサービス・居宅介護
支援・地域包括支援センター)

〒969-3544
河沼郡湯川村大字清水田字川入8
高齢者コミュニティセンター内
TEL・FAX (0241)27-8890



1 2 防災訓練で講座を受ける村民の皆さん。デイサービス利用者への支援の仕方も実技で学んでもらいました。3 上体起こしや障害物歩行などを行う老人クラブの体力測定会。さて結果は？ 4 老人クラブの子育て交流支援。輪投げなど昔の遊びで交流しました。

誰もが安心して住める
村づくりのため

湯川村は県内で最も面積の小さな市町村です。「湯川村社協では誰もが安心して住める村づくり」を第1の重点事業として掲げ、高齢者の方はもちろん、どの世代においても充実した福祉を目指しています」と兼子康弘事務局長。

とは言い、社協がどんな組織であるのか分からない方も、若い世代には少なくありません。そこで今年7月に湯川村社協が主催した防災訓練では、消防署の方を講師に迎えての講座や実技指導を行うとともに、社協の立場と役割についての周知も図りました。「村民の方との直接の触れ合いを通して、小学生にも社協を知っていただく機会になったはず」と兼子事務局長は話します。

現在は、地域包括支援センターの職員が地区に出向き、「認知症を



「若い方に積極的に各種講座に参加してもらい、社協を発信する機会としたい」と兼子康弘事務局長。

学ぶ教室」を展開中です。「これらを活用しながら社協を周知するとともに、誰もが安心して住める村に結びつけていきたいと思えます」。

湯川村社協の第2の重点事業は、災害に備えた体制の整備です。

「東日本大震災時、湯川村には相双地区から160人ほどが避難してこられました。しかし、大勢の避難者を受け入れる体制が整っておらず、どのように対応するべきか苦しみました。今後、村の防災計画と連携しながら取り組み方を見直していければ」と兼子事務局長は見据えます。

小さくも大きな福祉を 展開していく

湯川村社協が運営する老人クラブの活動は、これまでスポーツが中心でした。4年前からは保健師を交えた体力測定会を年2回実施し、握力測定、開眼片足立ちなどで自分の体力を確認して、体力の維持・向上につなげています。「以前の自分や友達の記録と比べ合うことで、良い励みになるようです」と事務員の鈴木次郎さん。また、老人クラブが放課後児童クラブの子どもたちにお手玉やあやとりなど昔の遊びを教える子育て交



「事務局は二人体制のため幅広い対応が求められますが、他の社協とも連携していければ」と鈴木次郎さん。

流支援では、「逆に今の遊びを教えられたりすることで、心の元気に結びついている」と話します。

村民に対しては、民生・児童委員、保護司、人権擁護委員などが相談を受ける心配ごと相談事業や、判断能力が不十分な方の日常生活を支援するあんしんサポートといった事業も展開していますが、利用者は少ないのが現状です。「社協が皆さんの福祉を支える身近な存在であることを浸透させつつ、事業の活発化を図りたい。そして社協といったら湯川村と言われるように努めます」と兼子事務局長。湯川村社協は小さくも大きな福祉に向けて前進しています。



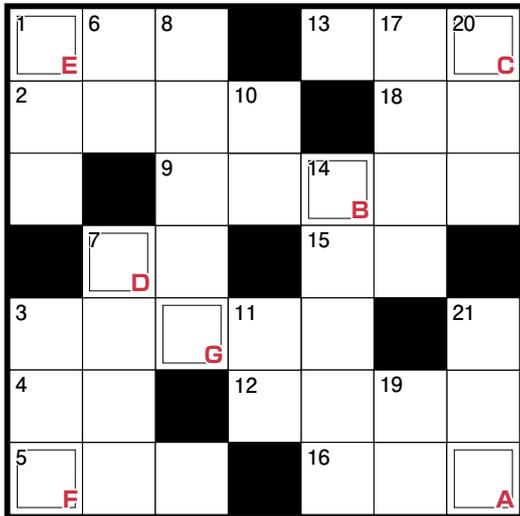
湯川村社協の皆さん。

クロスワードに「ポンせんべい詰め合わせ」が当たる!

今月の正解者の中から抽選で3名の方に、NPO法人ひろせ(伊達市)の「ポンせんべい詰め合わせ」をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



●全部できたら二重ワクの7文字をABC順に読んでいくと、それが答えです。



応募方法 ハガキにパズルの答えと ①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、業種 ②本誌に対するご意見、ご感想、ご要望を全てご記入の上、下記までご応募ください。

締切 平成26年1月15日(木)

宛先 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
「はあとふる・ふくしまパズル係」

※ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。

↓タテのカギ

- ① 不忍池、アメ横、動物園、西郷隆盛像
- ③ 西日本の正月はブリ、東日本は新巻のコレ
- ⑥ 歴代流行語トップ10に選出「亭主元気で○○がいい」
- ⑦ 「彗星」を英語で言うと?
- ⑧ Jリーグの代表者
- ⑩ 優→良→可→○○
- ⑪ ⇔中
- ⑭ 麦のこうじで作った味噌
- ⑰ 芸術は○○○○だ!!
- ⑲ 将棋で自分のコレを取られたら負け
- ⑳ 嫁入りの日は天気雨になるという動物
- ㉑ 酪農が盛んな、帯広や足寄がある北海道の道東エリア

→ヨコのカギ

- ① もち米でないお米
- ② 空想科学。サイエンスフィクションの略
- ③ 八方塞がりて孤立無援な様子を表す四字熟語
- ④ 三人称のひとつ。振り返れば○○がいる
- ⑤ 「薬缶」を英語で言うと?
- ⑦ お正月には凧上げてコレを回して遊びましょ
- ⑨ じぶんの町を良くするしくみ。共同募金のシンボル
- ⑫ 春には町のHPで夜の森の桜を配信しています
- ⑬ 花が丸ごと落ちるので、お見舞いには不向きな花
- ⑮ ⇔冬
- ⑯ 機械設備。○○○産業、制御○○○、加速○○○
- ⑱ ♪お手々つないで~の曲名は「○○が鳴る」



10月号の正解

「太陽光(タイヨウコウ)」

多数のご応募ありがとうございました。

ふくしまから たくさんの「ありがとう」を伝えたい

塩沢農村広場応急仮設住宅
自治会長 熊川 勝(二本松市)



震 災後、一番感謝の気持ちを伝えたいのは津波で亡くなった女房です。家内の遺骨は放射能で持ってくる事ができないためまだ浪江の部屋にありますが、毎日語りかけています。

被災してから感謝の気持ちが込み上げる場面はたくさんあります。人に親切にされる度、俺は1人じゃないと思えました。

津波で流され裸で槽の上にあったところを迎えに来てくれた兄貴。娘のところに身を寄せようにも、飛行機も全て止まっていた須賀川の空港ロビーで塩原からタクシーがでるといふ情報を教えてくれた青年。瓦礫の上を裸足で逃げたため釘が刺さった足の治療を迅速にしてくれた横浜の病院スタッフ。津波でなくなった免許証を最優先で再発行してくれた神奈川の免許センターや、携帯電話を無償交換してくれた携帯ショップ。

4月14日、遺体捜査が入った浪江町で妻を探すため、飛んで帰った二本松市では、復興作業員の宿泊で二本松駅周辺のホテルは全て満室…しかし1部屋空けて、途方に暮れていた私を無償で泊めてくれた、ある宿の女将さんと旦那さん。二本松から浪江までの長距離を「代金はいらない」とメーターを0にしてくれたタクシー運転手。暑さのため遺体が臭う中、遺体捜査をしてくれた若い警察官。そして6月、家内の遺体が見つかり、快く供養してくれたお寺の住職…。

人間はこういうときに思いやりをひしひしと感じます。常に感謝。「ありがとう」という言葉を忘れてはいけません。仮設住宅の人々はお互いに「ありがとう」と言い合っているから明るく前を向いていられるのです。

東日本大震災を経てお世話になった方への『ありがとう』の気持ちを、ぜひお寄せください。投稿方法など詳細は県社協ホームページをご覧ください。
<http://fukushimakenshakyo.or.jp/thankyou/oubo.html> 福島県社協 ふくしまからありがとう 検索

福祉の求人、求職は福祉人材センターへ

1月の「福祉の仕事相談会」

(相談受付時間 午前10時~午後3時(全会場共通))

| 6日(月) | 8日(水) | 16日(木) | 27日(月) |
|------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 会津若松市 社会福祉協議会 | いわき市 社会福祉センター | 南相馬市 原町区福祉会館 | 郡山市 総合福祉センター |

県社協 人材研修課 福祉人材センター / メール jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp
TEL (024) 521-5662 FAX (024) 521-5663

★ネット紹介システム(インターネット求人登録)は、
<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp> の福祉人材センターホームページからアクセス!

ひとり親のみなさんの就業を応援します

1月の「就職相談会」

(相談受付時間 午前10時~午後3時(全会場共通))

| 8日(水) | 22日(水) | 23日(木) |
|-------------------|-------------------|--------------------|
| 須賀川市 県中保健福祉事務所 | 南相馬市 相双保健福祉事務所 | 福島市 県総合社会福祉センター |

- 相談無料 事前に予約が必要です。
- 随時、お仕事の相談を受け付けております。上記以外にも県内各地で相談会を開催しておりますので、お気軽にご連絡ください。

県社協 人材研修課
母子家庭等就業・自立支援センター
TEL (024) 521-5699
FAX (024) 521-5663
メール boshi@fukushimakenshakyo.or.jp

編集後記



会社(人間の)寿命(一生)は、良いときもあれば悪いときもあって当然で、社会を構成する一員(一人)として、普段からどんな取り組み(生き方)をするのか、そんなことを考えた特集でした。
本当の勝負師は、自分の手元だけでなく大きな流れを常に見つめ、わざと負けをつったり、人に施す(恵みを与える)こともあるそうです。
みなさま良いお年をお迎えくださいませ。

さいとう なお
地域福祉課 齋藤 奈緒



Vol.2

今月号は、伊達市および福島市でそれぞれ元気に活躍する方々を紹介いたします。

伊達東仮設住宅

みんなでやるラジオ体操友の会

伊達市伏黒

活動内容

○健康づくり活動
ラジオ体操・オリジナルの体操



代表の上田哲夫さん(右)とメンバーの皆さん。女性メンバーが多いそうです。

毎朝欠かさず、 体操で健康づくり

伊達市の伊達東仮設住宅では、福島第一原発事故により全村避難と

なっている飯館村の人々が生活しています。ほとんどが高齢者世帯ですが、住民の皆さんは毎朝広場に集まり元氣よく健康づくりに励んでいます。

「最初は5、6人の仲間と始めましたが、段々と増えて今では30人ほどになりました」と話すのは、「伊達東仮設住宅みんなでやるラジオ体操友の会」(以下、友の会)代表の上田哲夫さん(70歳)。飯館村では元々の地区ごとにとまどまった避難がでぎず、伊達東仮設住宅も草野地区・前田地区を中心とした様々な地区からの集まりです。ここに来て初めて顔を合わせた方々が多かったものの、上田さんたちの取り組みに参加したいと自主的に集まりだし、毎朝の日課として定着していききました。

様々な工夫で 住民どうしの交流の場に

友の会で行う体操は非常にユニークです。当初はラジオ体操が基本でしたが、運動指導に訪れた専門家の協力で「三百六十五歩のマーチ」に乗せたオリジナルの体操が新たに創られ、現在はこのように毎日取り組んでいます。また、村の老人クラブ連合会からの助成を受けて年に一度イベントを開き、早起きして体操に取り組んだ参加者に景品を贈呈して大変喜ばれています。こうした工夫を凝ら



毎朝6時30分から7時まで元氣よく体操に励んでいます。

した様々な取り組みが継続につながり、日々のコミュニケーション作りにも一役買っているといえます。

「いついつと」続けていきたい

避難した若い人々は特に民間アパート等のいわゆる借上げ住宅などへの入居が多く、仮設住宅では高齢者世帯が多いという傾向があります。友の会の平均年齢も70歳を超えますが、メンバーは1日のスタートとなる毎朝の時間を楽しみにしており、中には毎朝椅子を準備して自分の体調に合わせて取り組んでいるメンバーもいるといえます。

仮設住宅での避難生活という特殊な環境の中、友の会の活動は、日々の生活を元気で健康に過ごしていくための大きな励みになっています。「これからもこのように毎日続けていきたい」と、上田さんは今後の目標を話してくれました。



木村悦子さん
(70歳) 福島市

活動内容

○福島市女性教育指導員(平成17年〜23年)
○吉井田学習センター運営審議委員(平成21年〜)
○吉井田歴史愛好会(平成8年発足)副会長
○吉井田コーラス教室(平成17年発足)会長

社会活動で地域に恩返しを

木村さんは福島市吉井田地区で生まれ育ちましたが、現役時代は小学校教員を務め、長年にわたり地元を離れた場所で教鞭をとってきました。教職一筋だった木村さんの大きな転機となったのは、自身の母親の介護。当時は定年間近でしたが、退職して地元に戻り懸命に介護を続ける中で、多くの福祉関係者や高齢者など様々な人々との出会いがありました。それがこれまで知らなかった世界とつながって、「生活する地域のことをもっと知り、恩返しをしていきたい」と様々な活動に携わることとなり、現在まで積極的に続けています。

人とのつながりを大切に、 幅広い活動にまい進

木村さんは、常に社会との関わりや社会貢献を念頭におき、人とのつ

なごりを大切にしています。

吉井田歴史愛好会では、吉井田地区をはじめ福島県内外にも出向き、歴史の学習や研究を行っています。副会長の木村さんは、会報の作成や地域の文化祭への展示物作成などに中心となっており、活動を盛り上げています。特に地元の歴史を研究するときは、先輩である地域の高齢者の話を熱心に伺い、「勉強させていただくことが何よりもうれしい」と話します。

3期6年を勤めた福島市女性教育指導員では、「吉井田女性スクール」の指導者として「衣のもったいない学習」を推進し、いらなくなった傘や風呂敷、帯などでエコバッグや草履、吊るし雛の作成を指導。子育て支援の一端として外国に住む子ども達に作品を贈り大変喜ばれ、国際交流にも一役買いました。

さらに平成17年には、歌に取り組む団体がなかった吉井田地区に「吉井



吉井田地区についてまとめた展示物。木村さんのアイデアが詰まっています。



傘で作ったエコバッグと不要な衣類で作った草履。

田コーラス教室」を設立。定期的に楽しく練習に励むとともに、毎年イベントでは郷土ゆかりの音楽家の功績を学ぶ集いを開き、地区内外から多くの参加者を動員しています。

これからもよき出会いを

前述した活動の他にも様々なことに興味があり、水墨画や習字、講演会の聴講や遠くへの旅行も好きだという木村さん。これまでの人生で「一人は皆師である」と強く感じ、たくさんのおき出合いを重ね、多くのことを学んできたといいます。そして「これからもやりたいことがいっぱいある」として、健康に気をつけながらよき出会いをして学び、精一杯心を込めて自分のできることをやっていきたいと今後の目標を語ってくれました。

高齢者総合相談センターからのお知らせ

平成26年 1月・2月の相談日のお知らせ

| 相談種別 | 相談員 | 相談日 | | 時間 | |
|------|---------|-----------------|--------------|------------|------------------------------|
| | | 平成26年 1月 | 2月 | | |
| 専門相談 | 年金・保険 | 社会保険労務士 | 月 6日 | 3日 | 午後1時30分～午後3時30分 ※専門相談は要予約 |
| | 法律 | 弁護士 | 火 7日・14日・21日 | 4日・18日・25日 | |
| | 税金 | 税理士 | 水 8日 | 5日 | |
| 一般相談 | センター相談員 | 月曜日～金曜日 ※祝祭日は休み | | 午前9時～午後5時 | |

相談は**無料**です。来所、電話、手紙、メールでどなたでもご相談ください。

相談・予約先 県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 (福島県総合社会福祉センター3階)
TEL (024) 524-2225 メール choju@fukushimakenshakyu.or.jp

認知症コールセンターからのお知らせ

| | |
|------------------|--|
| 電話相談 | 月曜日～金曜日 午前10時～午後4時 |
| 平成26年 1月・2月の面接相談 | 1月9日(木)・24日(金) 2月13日(木)・28日(金) 午後1時～午後4時 ※要予約 |

相談・予約先
県社協 いきいき長寿課
認知症コールセンター
TEL (024)522-1122

相談は**無料**です。どなたでもご相談ください。※祝祭日は休み